



川上 勝弘

集中治療部部長、麻酔科副部長、手術センター科長＝専門は麻酔科

長野市民病院から 知っておきたい 医療の知識

159



時代劇やアニメを見る人は、こうした約束事を暗黙のうちに知っているので、安心して見ることができるのでしょ。

知っていることは安心感に、知らないことは不安や怖さにつながります。では、入院して手術や治療を受ける人との家族はどうでしょうか。

先の展開が読めないとテレビドラマを見るとドキドキして目が離せないので対して、時代劇やヒーロー・ヒロイ

ン物のアニメの多くは、安心して見ることができます。

初めは悪役が主人公を危機におとしいますが、主人公はその危機を克服し、最後には必ず悪役を成敗します。

さんや家族は、けがや病気の診断や治療方法、もいるかもしれません。私たち、患者さんいろいろな情報を集めるこ

とでしよう。医師や看護師から受けた説明のほかに、過去の経験、知人の口伝え、テレビやラジオ、雑誌や書籍、そしてインターネット…さまざまなどうから情報を得ることができます。でももしかしたら自分に都合のいい情報だけを集めたり、逆に悲観的な情報ばか

り集めたりしている人。この、麻酔の技術や装置が進歩していることを伝えます。さらに、

説明に用いるパンフレ

ットのイラストに酸素マスクとモニター、鎮

安眠薬専用の管、尿道の

管、傷の内側に挿入す

る管、エコノミークラ

ス症候群予防のベルト

などを書き加えます。

自分がどんな状態で手

術を受けることになる

のかを、あらかじめ患

者さんに理解してもら

うためです。

**正しい情報を事前に
手術が決まる患者**

情報だけを集めたり、逆に悲観的な情報ばかり

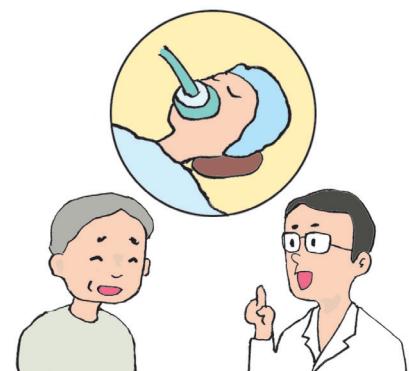
麻醉科医が行います。当院では、麻醉の説明を手術が決まった時

か手術前日に、専門の麻醉科医が行います。麻酔科医は、患者さんの年齢、病気の経過や持病、手術方法を確認し、どのような麻酔を行ふのかを説明しま

す。

手術後には相談も

手術後には、会話や食事、日常生活に支障が出る場合があります。こうした患者さんの困



安心して手術を受けるために

患者さんの中には、以前の麻酔で痛かった、吐いてつらかった、尿道の管が痛かったなど、切々と訴える人もいます。私は、全身麻酔を麻酔科医が担当す

ます。ですから、安心して手術を受けてください。主人公は患者さんあなたなのです。